

ちょっと一言

緩和ケア病棟では、年間約100名の方をお見送りさせていただいています。看取りは、ご家族にとって、やはり悲しく辛いものだと思います。

その中でも、ご家族がご本人との良い時間が持てたり、家族で力と気持ちを合わせ、結束できたとき、きっとそれは、看取りという辛い別れの後に、一日一日を生きていくご家族の力となるのではないかと感じています。

それが患者さんからご家族への、最後の贈り物かもしれませんね。



風薫る季節になり、緩和ケア病棟の庭も緑に覆われています。一足先にモッコウバラも咲き始めました。もうすぐ、ばらの美しい季節です。



今年も桜が咲きました。ウッドデッキや庭でお花見をしていただきました。

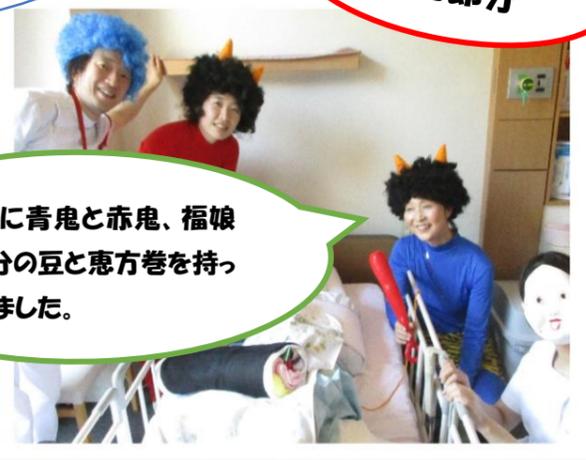
お知らせ

当院では、地域の医療職の方を対象に、毎年緩和ケアセミナーを開催しております。昨年度は、人間にとって最も大事な「食」と「排泄」についての支援、最後の大事な時間をどこで過ごすか「療養場所の選択」の支援について、それぞれ当院の専門職からお話をしました。また、地域の施設様へ緩和ケアについてお役に立てればとの思いで、看取りについての研修や訪問も行っております。

現在は新型コロナウイルスの影響で訪問することが出来ませんが、今後お困りなことがあれば、下記のメールかなでしこホットラインにご相談いただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

2月までは、園芸ボランティアさんやマッサージのボランティアさんに来ていただき、患者さん方にとっても喜んでいただきました。今は、新型コロナウイルスの感染防止の為に、演奏会などのイベントも含めボランティアさんの訪問は全て中止となっています。庭の花も寂しそうです。

2月節分



お部屋に青鬼と赤鬼、福娘が、節分の豆と恵方巻を持って伺いました。

